



—東北生産性本部—

## 2015年新年労使交流会を開催

平成27年1月13日（火）15時半より、江陽グランドホテルにおいて、『2015年新年労使交流会（新春講演会、賀詞交歓会）』を東北エネルギー懇談会との共催により、約120名のご参加を得て開催いたしました。



### 開会挨拶 会長 齋藤茂雄

- ・皆様の日頃のご支援に感謝いたします。
- ・今年は、国民経済の生産性向上を図ることを目的に設立された日本生産性本部が還暦（60年）を迎える。
- ・これまで製造業をベースに進められた生産性向上活動は、今後、サービス産業、とりわけ観光業について、官民揚げて取組み元気にしていく必要があり、当本部としても製造業での生産性向上のノウハウを活かし、観光業の生産性向上に向けた支援をしていきたい。

新春講演 「2015年 世界の構造転換と日本の進路」  
～日本経済展望及び取り巻くエネルギー・環境問題への視座～  
講師 寺島実郎氏 一般財団法人日本総合研究所理事長  
(株)三井物産戦略研究所会長



## ＜講演概要＞

講演では、『今年は戦後 70 年、当時日本が統治していた香港・韓国・台湾はすでに経済発展を遂げた。2013 年の一人当たり GDP（IMF 統計）では、シンガポール 5.5 万 \$、ブルネイ 4.0 万 \$、日本 3.85 万 \$、香港 3.8 万 \$、韓国 2.6 万 \$、台湾 2.1 万 \$ となっており、もはや日本がアジアの先頭ではないという現実にある。中国も今では日本の貿易国シェアの 2 割を超えている。訪日観光者は今年 12 百万人を超えたが、特に大中華圏（中国、韓国、台湾他）からはその約 6 割を超える状況になっている。

一方、IMF の世界経済見通では、アメリカは、現在、世界の産油国で、天然ガスも伸びており、実質 GDP 成長率は 7 月段階の 1.7% を 10 月には 2.2% へ上方修正された。日本は、7 月段階の 1.6% を、10 月には 0.9% へ下方修正された。アメリカの失業率も 10 月雇用統計では前月から 0.1% 下げた 5.8% となり、6 年ぶりの低水準になるなど、アメリカの経済が回復基調であり、いよいよ金融引き締めに舵を取るだろう。これで世界経済の流れも変わってくる。

このような中で、日本は自分の収入の 2 倍の生活（国債等による借金）をしており、その借金のつけを子や孫の世代に平気で付け回す無責任さである。アベノミクスにより株高が進む状況は、実体経済を伴わず土台も柱もない、「つり天井」の経済である。ドイツは金融緩和をせずに財政の健全化を図った。これが本筋である。アベノミクスの成長戦略である第 3 の矢の実行計画がまだ見えてこない。真の成長戦略には、新たな産業観に立つ産業創生戦略が不可欠である。

これから次世代 ITC（情報通信技術）、ビックデータや流通情報革命（次世代バーコード等）の時代が到来する。これまでの工業生産指数では測れない時代であり、脱生産モデル指標を模索する必要がある。これからの方向性としては、日本経済・産業の弱点を補う視点が重要で、その一つがサービス産業の生産性を高め、働く人々の収入を持ち上げる必要がある。まずは観光産業に着目し、アジア諸国を含めたハイエンドのリピーターを増やすことが必要で、インテグレートリゾート（統合型リゾート）や、医療やコンベンションなど、ツーリズムに付加価値を付けていく知恵が重要である。」と話された。

## 新年賀詞交歓会



祝辞  
守本東北経済産業局長



乾杯  
犬飼宮城県経済商工観光部長



開会挨拶  
田村副会長

### ＜賀詞交歓会＞

- ・開会挨拶 副会長 田村昌徳（東北電労本部執行委員長）
- ・祝辞 東北経済産業局長 守本憲弘氏
- ・乾杯 宮城県経済商工観光部長 犬飼 章氏
- ・中締め 副会長 今西 肇（東北工業大学教授）



中締め 今西副会長



※ みなさま 本年もどうぞよろしくお願いたします！！